

平成26年度 ★実施計画 事業評価シート (25年度事業の評価)

1. 事業の概要(Plan)

事業名	事業No	470 生きた英語教育推進事業				
総合計画	めざまちの姿	1 人が育つまち			担当部	教育委員会事務局
	基本計画【施策】	1-②生きる力を育む			担当課	学校教育課
関連予算科目	一般	会計	10 款 教育費	01 項 教育総務費	03 目	教育指導費
	予算事業名	基本事業(事業1)	教育指導関係経費	細事業名(事業2)	生きた英語教育推進事業	
実施主体	市	実施方法	一部又は全部委託	対象	特定の市民 市立幼稚園児・小中学校児童生徒	
事業期間	開始年度	平成12年度	終了予定年度	-		
事業の目的	異言語・異文化コミュニケーションの楽しさを味わわせるとともに、積極的に英語を学ぼうとする姿勢を育てる。					
事業の概要	①公立幼稚園、小学校、中学校へのALTの配置計画を立案し、効率的に実施する。 ②ALTの有効活用を薦めるための教職員の研修会を実施。学校の教育活動で具体的なALTの活用方法やALTへの指示書の作成の方法を研修する。					

2. 事業の実績(Do)

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・委託契約によりALT4名(4名の委託契約)を配置。 ・中学校 鷺津(115日)白須賀(57日)湖西(73日)岡崎(108日)新居(110日) ・小学校 鷺津(63日)白須賀小(28日)東(16日)岡崎(54日)知波田(33日)新居(77日) 					
課題	・各校の希望する日数、時間数を配置したいと考えているが、要望に応えられない場合もある。					
コスト			平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	事業費(A)	当初予算額	20,664 千円	20,664 千円	20,218 千円	
		決算(見込)額	20,664 千円	20,160 千円	千円	
	財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など	千円	千円	千円	
		一般財源	20,664 千円	20,160 千円	20,218 千円	
	人件費(B)		2,506 千円	3,633 千円	3,802 千円	
	人工(職員数の内訳)		0.3 人	0.5 人	0.5 人	
トータルコスト(A)+(B)		23,170 千円	23,793 千円	24,020 千円		
活動指標	内容		単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	学校教育課事業調査における成果の評価	%	目標	100	100	100
			実績	100	100	千円
		達成度	100.0%	100.0%	千円	

3. 評価(Check)

総合判定	<p>A 「充実」または「事業内容が概ね適切な事業」</p> <p>《判定理由》</p> <p>児童生徒の教育のために有効であるため。</p>	<p>必要性</p>  <p>有効性</p> <p>優先性</p> <p>効率性</p>
------	---	---

4. 今後の事業の方向性(Action)

今後の方向性	事業の方向性	継続
今後の方向性	今後の取組内容(課題に対する改善等)	●ALT(外国人指導助手)を委託契約として配置していく。

平成26年度 ★実施計画 事業評価シート (25年度事業の評価)

1. 事業の概要(Plan)

事業名	事業No	471 外国人児童生徒適応指導教室事業			
総合計画	めざまちの姿	1 人が育つまち		担当部	教育委員会事務局
	基本計画【施策】	1-②生きる力を育む		担当課	学校教育課
関連予算科目	一般	会計	10 款 教育費	01 項 教育総務費	03 目 教育指導費
	予算事業名	基本事業(事業1)	教育指導関係経費	細事業名(事業2)	外国人児童生徒適応指導教室事
実施主体	市	実施方法	市が直接実施・運営	対象	特定の市民 市内小・中学校の児童生徒
事業期間	開始年度	平成20年度	終了予定年度	-	
事業の目的	外国人児童生徒の学校生活への適応を助け、楽しい学校生活が送れるように支援する。				
事業の概要	①外国人児童生徒の日本語の習得や学習の支援をする。 ②保護者との連絡がスムーズにできるように、通訳や翻訳などを行う。 ③各学校からの要請に応じて、未配置校にも派遣する。				

2. 事業の実績(Do)

事業実績	外国人児童生徒の多い学校に指導員を2名配置。(ポルトガル語1名、スペイン語1名)					
課題	指導員が配置されていない学校の外国人児童生徒への対応。十分な時間が確保できない。					
コスト			平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	事業費(A)	当初予算額	1,954 千円	1,954 千円	1,954 千円	
		決算(見込)額	1,951 千円	1,949 千円	千円	
	財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など	千円	千円	千円	
		一般財源	1,951 千円	1,949 千円	1,954 千円	
	人件費(B)		2,507 千円	727 千円	1,267 千円	
	人工(職員数の内訳)		0.3 人	0.1 人	0.2 人	
トータルコスト(A)+(B)		4,458 千円	2,676 千円	3,221 千円		
活動指標	内容		単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	学校教育課事業調査における成果の評価	%	目標	90	90	90
			実績	100	100	-
		達成度	111.1%	111.1%	-	

3. 評価(Check)

総合判定	A 「充実」または「事業内容が概ね適切な事業」 《判定理由》 外国人児童生徒は今後も在籍し、支援が必要であるため。	必要性 有効性  優先性 効率性
------	---	--

4. 今後の事業の方向性(Action)

今後の方向性	事業の方向性	継続
今後の方向性	今後の取組内容(課題に対する改善等)	●外国人児童生徒が学校生活において困難を抱えることが減るように、今後も指導員の増員なども検討しながら、適応指導教室事業を継続していく。

平成26年度 ★実施計画 事業評価シート (25年度事業の評価)

1. 事業の概要(Plan)

事業名 事業No	472 不登校児童生徒適応教室事業					
総合計画	めざまちの姿	1 人が育つまち			担当部	教育委員会事務局
	基本計画【施策】	1-②生きる力を育む			担当課	学校教育課
関連予算科目	一般 会計	10 款 教育費	01 項 教育総務費	03 目	教育指導費	
	予算事業名	基本事業(事業1)	教育指導関係経費	細事業名(事業2)	不登校児童生徒適応教室事業	
実施主体	市	実施方法	市が直接実施・運営	対象	特定の市民 市立小中学校児童生徒	
事業期間	開始年度	平成9年度	終了予定年度	-		
事業の目的	不登校傾向のある児童生徒の相談活動や、個に応じた指導等を通して集団への適応力を育み、自立への支援を行う。					
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> 適応指導教室(チャレンジ教室)を継続開設し、学校・家庭・他の機関等と連携を図りつつ、不登校傾向にある児童生徒に対して学習支援や電話相談や訪問相談を行う。 					

2. 事業の実績(Do)

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 適応指導教室の開設。9時から12時までの3時間、湖西市勤労青少年ホームで実施。広い部屋があることで軽スポーツにも取り組み、集団への適応力向上にも役立っている。 1学期 4月22日(月)~7月12日(金) 2学期 9月5日(月)~12月13日(金) 3学期 1月14日(火)~3月12日(金) 					
課題	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の心に寄り添い、温かい人間関係に基づいた上で指導していくことが重要だが、活動のできる人材の継続確保が難しい。 適応教室入級児童生徒に適した学習教材の選定・提供が難しい。 					
コスト			平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	事業費(A)	当初予算額	2,000 千円	1,997 千円	1,997 千円	
		決算(見込)額	1,994 千円	1,994 千円	千円	
	財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など	千円	千円	千円	
		一般財源	1,994 千円	1,994 千円	1,997 千円	
	人件費(B)		1,880 千円	2,180 千円	1,901 千円	
	人工(職員数の内訳)		0.2 人	0.3 人	0.2 人	
トータルコスト(A)+(B)		3,874 千円	4,174 千円	3,898 千円		
活動指標	内容		単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	チャレンジ教室の入級児童生徒の出席率	% 達成度	目標	65	72	90
			実績	70	69	
		達成度	108.3%	95.8%		

3. 評価(Check)

総合判定	A 「充実」または「事業内容が概ね適切な事業」	
	《判定理由》 不登校児童生徒が、学校への復帰を目指し、また社会への自立を果たすため重要なため。	

4. 今後の事業の方向性(Action)

今後の方向性	事業の方向性	継続
	今後の取組内容(課題に対する改善等)	<ul style="list-style-type: none"> 今後も継続し、教員経験、養護教諭経験のあり、温かく接することができる人を指導員としていく。 学校と適応指導教室の連絡を取り合い、学校と連携した支援を進めている。

平成26年度 ★実施計画 事業評価シート (25年度事業の評価)

1. 事業の概要(Plan)

事業名	事業No	473 語らい読書推進事業			
総合計画	めざまちの姿	1 人が育つまち		担当部	教育委員会事務局
	基本計画【施策】	1-②生きる力を育む		担当課	学校教育課
関連予算科目	一般 会計	10 款 教育費	01 項 教育総務費	03 目	教育指導費
	予算事業名	基本事業(事業1)	教育指導関係経費	細事業名(事業2)	語らい読書推進事業
実施主体	市	実施方法	市が直接実施・運営	対象	特定の市民 市内小学校児童
事業期間	開始年度	平成22年度	終了予定年度	-	
事業の目的	良書と出会う機会を意図的に設定し、読書に親しみ、本について親子や友達と語らう場を設ける。				
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の小学校教室に毎月違う良書を配置できるように配置計画の立案し、本の巡回を行う。(およそ月に1回) ・小学生に薦める良書を紹介する。また、その発達段階に応じた内容の本を選定し、児童にとって親しみやすく、読書の習慣を身につけることができるよう実施していく。 				

2. 事業の実績(Do)

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・湖西市推薦図書を選定・購入 ・配置計画の立案 ・各校への本の配布(およそ月1回の巡回) ・破損、紛失による補充 					
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・学年によって、1冊の本を読み終わる時間が異なるため、期間が適正でない場合もある。(およそ1か月で巡回している。) 					
コスト			平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	事業費(A)	当初予算額	676 千円	174 千円	174 千円	
		決算(見込)額	674 千円	173 千円	千円	
	財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など	千円	千円	千円	
		一般財源	674 千円	173 千円	174 千円	
	人件費(B)		3,760 千円	727 千円	1,901 千円	
	人工(職員数の内訳)		0.5 人	0.1 人	0.2 人	
トータルコスト(A)+(B)		4,434 千円	900 千円	2,075 千円		
活動指標	内容		単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	巡回図書の延べ冊数	冊	目標	4,600	4,720	4,800
			実績	4,600	4,882	千円
		達成度	100.0%	103.4%		

3. 評価(Check)

総合判定	<p style="text-align: center;">A 「充実」または「事業内容が概ね適切な事業」</p> <p>《判定理由》</p> <p>児童にとって情緒面での成長や良書に触れるよい機会となるため</p>	
------	---	--

4. 今後の事業の方向性(Action)

今後の方向性	事業の方向性	継続
今後の方向性	今後の取組内容(課題に対する改善等)	<ul style="list-style-type: none"> ・推薦図書の見直し、購入と損傷等の本の補充を行う。

平成26年度 ★実施計画 事業評価シート (25年度事業の評価)

1. 事業の概要(Plan)

事業名	事業No	478 ポルトガル語通訳派遣事業			
総合計画	めざまちの姿	1 人が育つまち		担当部	教育委員会事務局
	基本計画【施策】	1-②生きる力を育む		担当課	学校教育課
関連予算科目	一般	会計	10 款 教育費	01 項 教育総務費	03 目 教育指導費
	予算事業名	基本事業(事業1)	教育指導関係経費	細事業名(事業2)	ポルトガル語通訳派遣事業
実施主体	市	実施方法	市が直接実施・運営	対象	特定の市民 市内小・中学校の児童生徒
事業期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	-	
事業の目的	外国人児童生徒の就学を支援したり、保護者との連絡を円滑に進めたりする。				
事業の概要	①外国人児童生徒の日本語の習得や学習の支援をする。 ②保護者との連絡がスムーズにできるように、通訳や翻訳などを行う。 ③各学校からの要請に応じて、未配置校にも派遣する。				

2. 事業の実績(Do)

事業実績	外国人児童生徒の多い学校に指導員を3名配置。(ポルトガル語3名)					
課題	指導員が配置されていない学校の外国人児童生徒への対応。等に十分な時間が確保できていない。					
コスト			平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	事業費(A)	当初予算額	5,585 千円	5,585 千円	5,580 千円	
		決算(見込)額	5,411 千円	5,378 千円	5,378 千円	
	財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など	千円	千円	千円	
		一般財源	5,411 千円	5,378 千円	5,580 千円	
	人件費(B)		2,507 千円	727 千円	1,267 千円	
	人工(職員数の内訳)		0.3 人	0.1 人	0.2 人	
トータルコスト(A)+(B)		7,918 千円	6,105 千円	6,847 千円		
活動指標	内容		単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	学校教育課事業調査における成果の評価	%	目標	90	90	90
			実績	100	100	100
		達成度	111.1%	111.1%	111.1%	

3. 評価(Check)

総合判定	A 「充実」または「事業内容が概ね適切な事業」 《判定理由》 外国人児童生徒は今後も在籍し、支援が必要であるため。	
------	---	--

4. 今後の事業の方向性(Action)

今後の方向性	事業の方向性	継続
今後の方向性	今後の取組内容(課題に対する改善等)	・外国人児童生徒が学校生活において困難を抱えることが減るように、今後も指導員の増員なども検討しながら事業を継続していく。

平成26年度 ★実施計画 事業評価シート (25年度事業の評価)

1. 事業の概要 (Plan)

事業名	事業No	480 安全教育推進事業				
総合計画	めざまちの姿	1 人が育つまち			担当部	教育委員会事務局
	基本計画【施策】	1-②生きる力を育む			担当課	学校教育課
関連予算科目	一般	会計	10 款 教育費	01 項 教育総務費	03 目	教育指導費
	予算事業名	基本事業 (事業1)	教育指導関係経費	細事業名 (事業2)	安全教育推進事業	
実施主体	市	実施方法	市が直接実施・運営	対象	特定の市民 市立幼稚園児・小中学校児童生徒	
事業期間	開始年度	—	終了予定年度	—		
事業の目的	安全な生活を送るために必要な知識や技能を、子どもたちや職員が身につける。					
事業の概要	①防災教育に必要な資料の提供 ②防災に関する研修や講演会 ③交通・防犯に関する安全教育の実施					

2. 事業の実績 (Do)

事業実績	①児童生徒、職員を対象にした防災講演会の実施 ②職員を対象にした防災研修会の実施 ③防災備品の整備 ④防災教育用テキストの配布						
課題	防災への意識は高まっているが、今後も命を守るために、研修等を充実させていく必要がある。						
コスト			平成24年度	平成25年度	平成26年度		
	事業費 (A)	当初予算額	1,003 千円	2,253 千円	1,254 千円		
		決算 (見込) 額	961 千円	2,244 千円	千円		
	財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など	千円	千円	千円		
		一般財源	961 千円	2,244 千円	1,254 千円		
	人件費 (B)		1,880 千円	2,907 千円	3,176 千円		
	人工 (職員数の内訳)		0.2 人	0.4 人	0.4 人		
トータルコスト (A) + (B)		2,841 千円	5,151 千円	4,430 千円			
活動指標	内容		単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	防災講演会参加者数		人	目標	100	1,000	1,000
				実績	991	1,220	千円
		達成度	991.0%	122.0%	千円		

3. 評価 (Check)

総合判定	A 「充実」または「事業内容が概ね適切な事業」 《判定理由》 児童生徒の安全を確保するため。	必要性 有効性  優先性 効率性
------	--	---

4. 今後の事業の方向性 (Action)

今後の方向性	事業の方向性	継続
今後の方向性	今後の取組内容 (課題に対する改善等)	・国や県の動向を確認しながら、防災教育を柱とした、安全教育の進め方を研究していく。

平成26年度 ★実施計画 事業評価シート (25年度事業の評価)

1. 事業の概要(Plan)

事業名	事業No	486 小中学校指定「特色ある学校づくり」推進事業			
総合計画	めざまちの姿	1 人が育つまち		担当部	教育委員会事務局
	基本計画【施策】	1-②生きる力を育む		担当課	学校教育課
関連予算科目	一般 会計	10 款 教育費	01 項 教育総務費	03 目	教育指導費
	予算事業名	基本事業(事業1)	研究指定事業	細事業名(事業2)	指定「特色ある学校づくり」
実施主体	市	実施方法	市が直接実施・運営	対象	特定の市民 市内小・中学校の児童生徒
事業期間	開始年度	平成22年度	終了予定年度	-	
事業の目的	児童生徒の生きる力を育むために、学校や地域の特性を生かした特色ある学校づくりを進める。				
事業の概要	教育課程の中で重点項目を設定し、児童生徒や地域の実態に応じた活動を行う。				

2. 事業の実績(Do)

事業実績	①地域の自然や歴史、人材を生かした体験活動の実施 ②校内研修の充実					
課題	学校や地域の特性を踏まえた実践が各学校で行われているので、活動を見直しながらよりよいものにしていく。					
コスト			平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	事業費(A)	当初予算額	5,267 千円	8,545 千円	8,259 千円	
		決算(見込)額	4,816 千円	7,803 千円	-	
	財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など	-	-	-	
		一般財源	4,816 千円	7,803 千円	8,259 千円	
	人件費(B)		1,253 千円	3,669 千円	3,369 千円	
	人工(職員数の内訳)		0.2 人	0.5 人	0.4 人	
トータルコスト(A)+(B)		6,069 千円	11,472 千円	11,628 千円		
活動指標	内容		単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	学校教育課事業調査における成果の評価	%	目標	90	90	90
			実績	100	100	-
		達成度	111.1%	111.1%	-	

3. 評価(Check)

総合判定	<p style="text-align: center;">A 「充実」または「事業内容が概ね適切な事業」</p> <p>《判定理由》</p> <p>各学校からの授業に対する成果や継続の要望も高いため。</p>	
------	--	--

4. 今後の事業の方向性(Action)

今後の方向性	事業の方向性	継続
今後の方向性	今後の取組内容(課題に対する改善等)	学校の特色を出して重点的に取り組む項目を設定し、教育活動全体を通して実践している。